



千代田区障害者就労支援センター通信

ちよだジョブコーチャージャーナル

働くことを応援する

No.63

～ 支援を受けながら働く、新しい雇用で選択肢を拡大 ～



山瀬さんを囲んで高石さん(右)と中岡さん(左)

+NARU NIHONBASHI by MITSUI FUDOSAN

三井不動産株式会社が2023年7月、東京・日本橋にオープンしたのが「+NARU NIHONBASHI by MITSUI FUDOSAN」(+NARU)。開放的な60席のオープンスペースが設置され、仕事から趣味まで幅広い用途で活用されています。その+NARUの運営を委託されているのがGoldilocks社。地域貢献やコミュニティの立ち上げなどに実績がある会社です。+NARUでは、同社から「コミュニティマネージャー」と呼ばれるスタッフを配置。ここから地域のつながりを広げるべく、ワークショップやイベントなどを数々展開していることでも注目されています。

+NARUのアピールに一役買っているのがコーヒースタンド。Goldilocks社の中岡映治プロジェクトマネージャーによると「しっかりとした美味しさがあり、なおかつ社会的意義のあるコーヒーを出したかった」。そのコンセプトに見合うコーヒーがソーシャルグッドロースターズの出すコーヒーでした。

● 企業と福祉が連携、働きやすさを実現

ソーシャルグッドロースターズは、美味しさと安全・社会貢献を追求したコーヒーブランド。商品を製作しているのは、千代田区内で一般社団法人ビーンズが展開する就労継続支援B型事業所です。ここでは、様々な障害を持つ人がコーヒーの焙煎やバリスタの技術を学び、生活リズムを整えながら社会に出ていく訓練を積んでいます。

+NARUでは、ソーシャルグッドロースターズに通所している当事者がコーヒースタンドのスタッフとして働いています。木・金の週2日勤務し、月・火・水はソーシャルグッドロースターズで訓練を続けています。つまり、就労しながら福祉サービスの支援を

受けられることができる新しい働き方となります。こうした“ハイブリッド就労”が、障害者雇用の一つの選択肢として広がるのが期待されています。+NARUでのハイブリッド就労を支えているのは、会社・支援機関・当事者の綿密な連携です。+NARUでは当事者への定期的な声かけを欠かさず、ソーシャルグッドロースターズからの配慮事項である「相談しやすい環境」に留意しています。当事者はソーシャルグッドロースターズと週1回振り返り面談を実施。会社には言いにくい困りごとや悩みなどを共有しています。

● 当事者が多様な働き方をワークショップで発信

ハイブリッド就労が2023年11月にスタートして3か月(取材時)になります。中岡さんによれば「コーヒースタンドのスタッフとしてはもちろんですが、自分自身の働き方や取り組みを説明するワークショップが人気を呼んでいます」とのこと。「自身の障害を通して+NARUの取り組みを発信してくれています。多様な働き方を打ち出すことは、+NARUのブランディング強化にもなります。コミュニティスペースの+NARUからこの取り組みが広がり、いずれは障害者雇用の拡大につながることを期待しています」(中岡さん)と話されています。

● 就労経験を積み、自身の課題解決へ前進

当事者を送り出す立場であるソーシャルグッドロースターズの管理者・高石快風さんは「支援を受けながら就労するこの働き方がばつりにはまったと思っています。いざというときに頼れる場所があることで、課題である生活リズムを少しずつ整えようという気持ちができてきました。+NARUで就労経験を積み重ねることにより、福祉では難しかった成長へのステップを踏むことができています」と話されています。また本人の変化として「よく笑うようになりました。自分自身を追いつ

めてしまうところがありましたが、働いているいろいろな経験をする
ことにより、自分自身を大切にできるようになったと感じます」と
手ごたえを口にされました。

● 支援を受けられる場所を残したい

当事者である山瀬さんのインタビューを紹介します。

Q1. この話がきたときにどう思いましたか。

A1. もともと就職を考えていましたが、体調が整わず難しさを感じ
ていました。この話をいただいたときは、就労への“滑り止め”
になるかなという気持ちでした。

Q2. 働いてみて体調面はいかがですか。

A2. あまり変化はないです。ハイブリッド就労なのでもう少し日
数を増やしても大丈夫かな、と感じています。

Q3. ここでの仕事を長く続けたいですか。

A3. 収入をもっと増やしたいので将来的には別の就労を考えて
います。ただ、いまは体調が足を引っ張っているので、支援を
受けられる場所は残しておきたい気持ちはあります。

Q4. これから挑戦してみたいことはありますか。

A4. ワークショップなどの企画で、自分の意見をしっかり出して
いきたいです。言われたことをやるだけでなく、自ら積極的に
関わっていきたくと考えています。

● 働き方の選択肢を増やして障害者雇用の拡大を

ハイブリッド就労について高石さんは「支援を受けながら働いて
もいいんだよ、ということが広まってくると嬉しいです。働き方
の選択肢が増えることで、いままで眠っていた層を掘り起こすこ
とができるのではないのでしょうか。」と期待を込めて話されます。
そのうえで「企業・福祉・当事者がきちんと話し合える場がないと、
ハイブリッド就労は成り立たないと感じています。例えば遅刻に
しても、会社にとっては問題だとなります。それを福祉の視点が入
ることによって、問題をみなで考えることができます。道半ばで
終わってしまうことが一番もったいないと思います。」と、三者
の連携がハイブリッド就労に不可欠なことを話されていました。

今後の展望について中岡さんは「+NARU はオフィス街にある
ので、人事に関わる方も来られている。ハイブリッド就労の取り
組みがそうした人たちの耳に届くことを願っています。」とにこや
かに話されました。

高石さんは「B型事業所で訓練を積んで一般社会に出たとして
も、支援の手が途切れた途端に元の状態に戻ってしまう人もい
ます。だからこそ、支援を受けながら就労できる“ハイブリッド
就労”が求められていると考えています。障害を持っていても、

働き方がたくさんあれば、自分で将来像を描くことができます。
ハイブリッド就労が、新しい働き方のモデルケースのひとつにな
ればよいですね。これを見て、これなら働けるかなという人が増
えてくれれば、この取り組みはやって良かった、と感じます」。

● 取材を終えて

「雇用条件を書面で整えるだけではみえないものがあるんですよ」
と高石さん。「当事者の困りごとを一方通行にはしない。彼はどう
いう人なのか。それを雇用者と当事者、そして“福祉”が共有し
ている。だからこそ、大きな問題に発展することなく、成長してい
くのゆっくり見守ることができる」と話してくれました。

障害者雇用において、職業準備性の整備が重要なのは言うま
でもありません。しかし、就労経験を積むことで得られる社会人
スキルやコミュニケーション力などは、当事者にとって働くことへ
の大きな一歩になります。

今回の取り組みでは、福祉が当事者と会社の懸け橋となって障
害者の就労を支えています。それにより、当事者は自身の課題
解決に取り組みながら、少しずつキャリアを積みあげることができ
ているのが大きなポイントとなります。

「彼がここでコーヒーをひとりで淹れている姿が誇らしい」（高石さ
ん）。「十分、戦力になってくれています」（中岡さん）。

それを聞いてはにかむ山瀬さんの姿が強く印象に残りました。

(インタビュー・構成：鈴木 信之)

【会社概要】

+NARU NIHONBASHI

(三井不動産株式会社、運営委託：株式会社 Goldilocks)

<https://www.plus-naru.com>



住所：東京都中央区日本橋本町1丁目
4-12カネダ日本橋センタービルディング1階

+NARUは、日本橋で「共感・共創・共発」
を生むコミュニティラボ。趣味・仕事・集い活動
する場として、約60席のラウンジ・イベントス
ペースを提供します。また多彩なコミュニティマ
ネージャーやイベントを通じて、日本橋で働く人を中心
に、街でのつながりや市民共創を広げていきます。

【施設概要】

ソーシャルグッドロースターズ 千代田

(運営会社：一般社団法人ビーンズ)

<https://sgroasters.jp>



住所：東京都千代田区神田錦町1丁目
14-13LANDPOOL KANDA TERRACE 2F

ソーシャルグッドロースターズは、障害のあるバリ
スタや焙煎士が活躍する福祉施設兼ロースター
カフェです。“Leave No One Behind”をモットーに、
コーヒーを通じて対等な関係を促進し、多様性を
尊重します。生産者や社会に利益還元し、良い
循環を目指しています。



就労支援のお問い合わせ

電話：03-3264-2153 FAX：03-3556-1223

E-mail：chiyoda.syuroushien@city.chiyoda.lg.jp

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

発行：千代田区障害者就労支援センター 第63号(2024年3月22日発行)

取材協力：+NARU・ソーシャルグッドロースターズ千代田

毎回、働く障害のある方やその職場を紹介していきます。次号もご期待下さい。